

第2回 中村川 流域治水 緊急対策 推進会議 緊急対策目標(案)

令和4年8月9日からの雨と同規模の降雨に対し、再度の浸水被害の防止・軽減を図るため、以下の目標を設定する。

1. 雨水・土砂流出の抑制
2. 外水氾濫の防止
3. 内水被害の軽減
4. 逃げ遅れゼロ

「流域治水」の施策のイメージ（出典：国土交通省HP）

- 流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考えです。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域
 [国・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、
 ため池等の治水利用

流水の貯留 河川区域
 [国・県・市・利水者]

治水ダムの建設・再生、
 利水ダム等において貯留水を
 事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水
 機能の向上

**持続可能な河道の流下能力の
 維持・向上**

[国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、
 雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した
 堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／
 住まい方の工夫 氾濫域
 [国・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、
 不動産取引時の水害リスク情報提供、
 金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、
 自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、
 多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、
 リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、
 BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報
 提供、金融商品を通じた浸水対
 策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの
 体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

県：都道府県 市：市町村 []：想定される対策実施主体

1. 雨水・土砂流出の抑制

(解説) 今回の出水では、内水・外水氾濫により被害が生じた。同規模の降雨に対して対策を進める上では、集水域から河川や市街地へ流出する雨水・土砂の量を現状より増やさないことが前提となる。加えて、集水域や氾濫域において流出量を減らすことが内水・外水に対する安全度の向上につながる。

「流域治水」の施策の取り組み

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

2. 外水氾濫の防止

(解説) 今回の出水における下流市街地での外水氾濫は、中村川から洪水が溢水・越水することで生じたものである。再度の浸水被害を防止・軽減するためには中村川の溢水・越水を防ぎ、洪水を安全に流下させる必要がある。

「流域治水」の施策の取り組み

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

3.内水被害の軽減

(解説)今回の出水では、中村川の水位上昇に伴い、流域への降雨が河川へ排水されず内水氾濫による被害も生じた。再度の浸水被害を防止・軽減するためには内水氾濫への対応も必要である。

「流域治水」の施策の取り組み

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

②被害対象を減少させるための対策

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

4.逃げ遅れゼロ

(解説)今回の出水では人的被害は生じなかったものの、今後も今回のような大規模な浸水が発生する可能性があることから、警戒・避難に対する備えが必要である。

「流域治水」の施策の取り組み

②被害対象を減少させるための対策

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策